

学 校 経 営 方 針

【学校教育目標】

凛として 挑む
～ 共に学び つながりを創造する 山階南～

「凛として」・・・態度がりりしく引き締まった様子，冷静で力強い様子，すがすがしい様子，しっかりした性格。そこから自立心が強く，高い志と自信持っている人。誠実で何事にも一生懸命な人。常に明るく，前向きな考えをする人。自然体で，誰に対しても優しい人のイメージ。（教職員個人やクラスの中で「凛として」を作り出してほしい）

【めざす子ども像】○挑戦する子

- 忍耐力のある子
- 考え判断する子
- 優しくできる子
- 笑顔で元気な子

【めざす教職員像】○子ども，自分，学校の成長を願う教職員

【めざす学校像】○家庭，地域，教職員が協力し，子どもを育む学校

【重点取組】

（１）「教科の本質」を「共に深め合う」授業を通して，学びに向かう力を育む

- ① 基礎基本の定着（指標となるテストの意識）。
- ② 「学ぶ楽しさ」「できる・わかる喜び」「使えるレベルの思考力」を育む授業の展開。
- ③ ICTの活用や言語活動を「教科の本質」につながるようにカリキュラム・マネジメントし，学びの質を高める。
- ④ 保護者や地域の方々と共に学び，身に付けた思考力を使い，つながりを創造する。

（２）毎日の家庭学習により，主体的な学びにつながる自学自習の習慣化を図る

- ① 授業と連動させた毎日の家庭学習の積み重ねによる自学自習の習慣化。
- ② 家庭学習について家庭との連携・協力を図る。
- ③ 子ども自ら学習計画を立て，予習・復習を意識できるようにする。

（３）全教育活動で道徳的な学びを取り入れ，自他を大切にする態度を育成する。

- ① 命を大切にする心や他人を思いやる心，感動する心など，子どもの豊かな人間性の育成を図る。
- ② 人権尊重の精神を基盤に，互いに認め合い，励まし合う集団作り。
- ③ 「命を守る」視点から健康の保持増進や望ましい生活習慣の実践，薬物など危険から身を守る方法，いじめは絶対に許されない人権侵害であることなどについて指導を徹底する。

（４）「公共の精神」に基づく態度，「自らを律する力」を育成する。

- ① 「社会に開かれた教育課程」の展開により，人と人の絆や人のために役立つことの大切さを実感し，社会の一員として必要な公共心や公德心，生命を尊重する心を育てる。
- ② 規範意識を高め，自分で考え，正しい判断ができるようになるための素地を育てる。
- ③ よりよい未来の創造（自分，学校，地域）に向け，自らの行動で課題を解決したり社会貢献したりするなど社会の形成に主体的につながる意識と行動力を育む。

学校運営の柱 ～全教職員が進める確かな学校教育～

1 子どもの命を守りきる

- ・「危機管理マニュアル」を基にした組織体制や教育活動
- ・「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」

いのち

2 「困り」を抱える子ども一人一人に対する支援を行う

- ・「個別の指導計画」等の利用による切れ目のない個に応じた指導
- ・ユニバーサルデザインを意識した学級経営・環境の見直し
- ・不登校児童への組織的・計画的な取組の遂行
- ・「よりそい」「導く」意識を中心とした指導

よりそい

3 すべての教職員がカリキュラム・マネジメントの視点をもって実践を進める

- ・総合的な学習、社会科、生活科を中心にカリマネを構築
- ・PDCA サイクルの展開
- ・ICT の活用方法を模索し、「共に深め合う」授業の実現

つとめ

4 教育者として職責を自覚し、専門性を高めるとともに、働き方改革を進める

- ・学び合い高め合う風土
- ・風通しのよい職場づくり

つとめ

(理科、音楽の専科、道徳授業でのクラスの交換、学年間での教科担当等の推進)

5 保護者・地域と連携・協働した取組を推進する

- ・PTA や学校運営協議会との協力や参画…「社会に開かれた教育課程」
- ・学校評価による見直し
- ・放課後まなび教室、児童館等との連携

ひろがり

6 校種間連携。接続を推進する

- ・小中一貫教育
- ・スタート・カリキュラム
- ・キャリア形成の取組…「生き方探求パスポート」

つながり

7 関係機関など社会と連携した総合的・継続的な支援を展開する

- ・SC, SSW, 児童相談所, はぐくみ室, スクールサポーター (山科署) 等との連携 (子どもの虐待等の通告義務)

つながり

指定

- ・「しなやかな道徳」教育研究指定 (山科中ブロック)